

高卒者の求人倍率は0.36

1人でも多くの採用をお願いします

長引く不景気により県内の求人は依然として減少傾向にあります。

来春の高校卒業予定者の就職内定も厳しく、企業の即戦力志向による大卒者採用の動きなどの影響で昨年以上に低迷しています。9月末現在、ハローワーク秋田管内の高校では、来春卒業者4,717人のうち、930人が求職中。そのうち771人が県内就職を希望しています。しかし、県内企業からの求人数は、昨年同時期の523人から今年は274人に減少。求人倍率は0.36となり、学生3人に対し求人1件の割合となっています。

企業のみならずには、秋田の将来を担う人材である若者を、一人でも多く地元採用していただきますよう、ご協力願います。

来春高校卒業予定者の就職面接会

とき / 11月8日(金)午後1時30分～4時
ところ / 秋田テルサ多目的ホール

問い合わせ ハローワーク秋田 ☎(864)4111

お客様第一！ 仕事への興味 深まりました

金田静夏さん
(和洋女子高校3年生)



昨年、インターンシップを生協で体験しました。接客業に大事なことは、お客様を第一に考えること。それに、職場のみなさんが向上心を持って働いているのが印象に残りました。

不況のなか、企業もとても大変そうです。たった三日の職場体験でしたが、それから就職希望は、お客様との信頼関係を大事にしている企業を、と考えるようになりました。

職場は元気なあいさつが一番。そして、仕事を良く把握、理解して一生懸命頑張ることが大切だと思います。

インターンシップの問い合わせ

工業労政課 ☎(866)2114



敷布と浴衣を丸めて片付け、布団は押入れに



拭きむらがないよう細心の気配りで

磨けば光るプロの技

和賀正利さん(秋田商業高校)

清掃などを行う厚生ビル管理で研修した和賀さんは、三日間、清掃のプロの技を教わりました。

「一番きつかったのは階段の雑巾がけ。一段一段すみずみまで拭いたので腰が痛かった」と働くことの大変さを身にしみて感じた様子の和賀さん。

指導にあたった名古屋誠市さんは、「職場体験は、人間関係を含めた社会勉強だと思います。掃除のコツも教えました。が、どんな仕事に就いても、まずはお客様に満足していただくという姿勢が大事。頑張ってください」とエールを贈りました。

就職はもっと住んでる地元

加藤隆志さん(秋田商業高校)

ホテルなどの宿泊施設への就職も考えているという加藤さんは、秋田温泉さとみを研修先に選び、客室の布団の片づけや配膳などに汗を流しました。

「学校の部活遠征でホテルや旅館に泊まることがあります。裏側でこんなにたくさんの方が働いているとは知りませんでした」と驚いた様子。「進学よりも就職希望なので、興味のある仕事を体験できて良かったです」と率直な感想を話してくれました。

家族や友人がいる地元で就職したいという加藤さん。しっかりとした目標を見据え、インターンシップに取り組んでいました。